

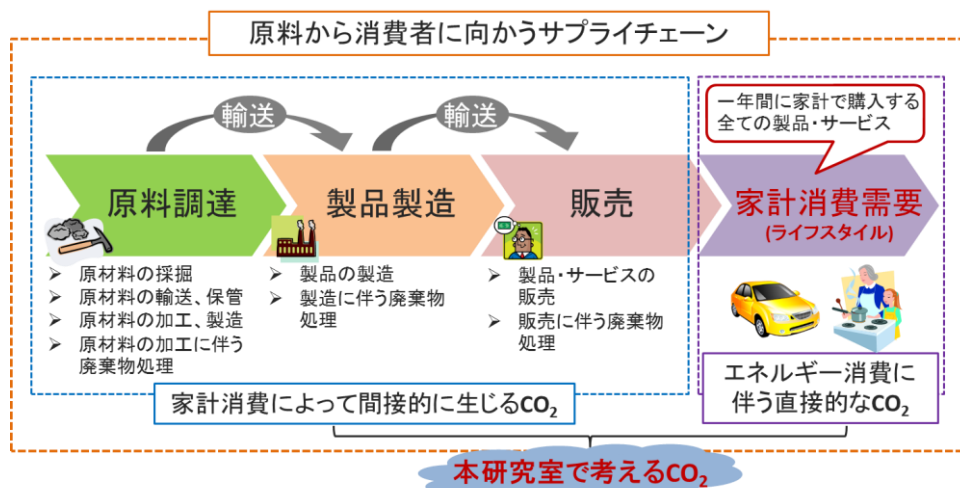
重富研究室（環境システム学）

教員名：重富陽介

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

今日最も大きな環境問題である地球温暖化の原因物質とされるCO₂やニュース番組等でも取り上げられたPM_{2.5}は、自動車等の利用に由来する化石燃料の燃焼に伴う排出が主因であることが広く知られています。近年ではこのような直接的な排出だけでなく、**ライフサイクルアセスメント (LCA)** による**隠れた間接的な環境負荷量**の定量化が注目されています。例えば先の自動車の例を再度挙げると、自動車の生産に投入される二次的なエネルギー消費量に由来するCO₂が隠れた間接排出量と言えます。

環境システム学研究室では国際的な環境政策に着目しながら LCA の考え方に基づく隠れた環境負荷の『見える化』を進め、これからの環境負荷削減に向けた新しい知見やアプローチについて分析・考察する研究を行ないます。こうした取組みはすでに企業でも Scope3 や環境フットプリント制度を通して推進されており、国内外で非常に重要度の高まる昨今の環境管理の情勢に寄与することができます。



LCAに基づく私たちのライフスタイルに起因する直接・間接CO₂の排出構造

● 先輩はどんなところに就職しているの？

本研究室は今年度からスタートしますので、就職した先輩はまだいません。ここでは産業間のつながり (BtoB, BtoC) や消費者のライフスタイルについて俯瞰的に学ぶことができ、例えば企業や行政の環境マネジメント、マーケティング、調達等の仕事に役立つことが期待されます。